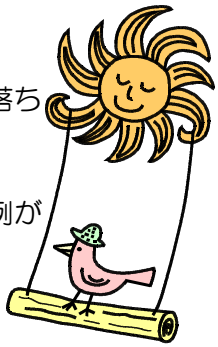
教育かわら版

こんにちは教育委員会です

ふたたび

No.１７７
令和４年１１月３０日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦



早い。ほんとうに月日の流れが早い。そう感じます。１１月が終わります。
教育委員会としては、イベントも続いた１１月。それらを終えて、ちょっと落ち着いた雰囲気で仕事に向かっている事務局職員です。
コロナがまだ勢いを収めません。子どもたちから家族へ。そのタイムラグもあって、濃厚接触者としての待機から自身の感染へと、長く休まねばならない例が多く見られます。辛抱です。
師走１２月に入ります。何とか耐えきって、良い年末年始を！
２０２３年に希望を！　頑張りましょう。雪雲の上には太陽がある。

文化庁・今金町文化財保存活用地域計画　認定

昨年から、**北海道埋蔵文化財センター理事長の　長沼　孝先生　を計画策定委員長**にお願いし、７名の有識者、５名の地域団体の方々等にお世話になる中で、**学芸員の宮本雅通　町教委主幹**を中心に策定を進めておりました今金町文化財保存活用地域計画ですが、令和４年７月２２日の文化庁・文化審議会文化財分科会において、文化庁長官より計画認定がなされました。
これにより、全国の認定自治体数は合計７８となり、今金町は北海道としては札幌市に次いで２番目の認定となりました。今後、令和４年度（２０２２）～令和１２年度（２０３０）まで、国の補助を受けながら、**『住民参加で 未来へつなごう 今金の歴史文化』**　を基本理念に、**「文化財を守り、調べ、磨き上げ、郷土に誇りを持てる人を育てる」**４項目の事業を進めてまいります。
関連文化財群としては
【大型カイギュウが暮らした地】　【旧石器時代の一大石器製作拠点・ピリカ遺跡】
【豊かな鉱物資源により特徴付けられる鉱山文化】　【キリスト教団体が入植した地】の４つを設定。学術のみならず観光産業振興にも結びつける取組を模索してまいります。
わずか１年で策定計画を仕上げた策定委員会の委員、事務局職員・連携課の皆様に感謝です。

北海道遺産　選定

その計画策定の過程で、NPO 法人北海道遺産協議会からお声がけもいただき、この度、北海道遺産第４回選定の一つとして、【今金・美利河の金山遺跡～後志利別川上流域の砂金採掘跡～】が北海道遺産選定を受けることができました。



この１１月２３日（祝）にホテルポールスター札幌で、石森秀三北海道遺産協議会会長より、中島光弘副町長に第７１号の選定証が授与されました。
その後行われた北海道遺産サミットでは、今金町教委の　矢原史希・地域おこし協力隊員が「遺産活動の紹介」を行いました。
「今でも金の採れる町」今金町の文化的発展にも期待です。

